

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2021年3月7日



予算要求学習懇談会

2月26日、「南区府市会予算要求学習懇談会」が開かれ、井上議員から、市政と市議会について、「市長だけでなく与党も『財政危機、改革』を煽っているのが特徴」等と報告させていただきました。参加者からは、「アスベスト裁判で勝利」「生存権裁判も大阪で勝った」等の嬉しい発言が相次ぎました。

- 油小路通りの渋滞対策はどうか。
- 地下ハイパストンネル、家賃減免も見直す。
- 市長は部屋数を減らし、質問は市営住宅の今後は？
- 市長は部屋数を減らし、家賃減免も見直す。
- 油小路通りの渋滞対策はどうか。
- 地下ハイパストンネル

市長が、今後5年間の市の「基本計画」案を提案、2月26日の市議会特別委員会で、井上議員が質問しました。「地方自治は憲法で謳われている。憲法の基本である主権在民、戦

争放棄、基本的人権等、またその前提として憲法自体を市政に生かす、との姿勢を打ち出すべき。市の部長は「書いてはいないがそういう趣旨だ」とあいまいな答弁でした。

憲法をくらしに生かす市政を

● 敬老乗車証見直しは市民の理解が得られるように。
 ○ 平均寿命の延びを考慮して早期に見直す。

○ 身体障害者手帳の申請について。
 ○ 親子関係。
 ○ 隣にマンション建設計画。説明会開催を。

2月24・25両日、市議会本会議で各党代表質問がありました。主な質問と答弁の特徴を紹介します。

- 共産党議員の質問は以前は所長である医師が各区の医療機関等と連携をはかってきた。保健所を各区に戻せ。
- 市長らの答弁は市全体で統一した対応がで

● 来年度予算において、コロナ対策が弱い。市民に財政危機をあおるな。

- 厳しい財政状況が続
- 住宅宿泊事業進出に際し、近隣住民の同意を義務付けるべき。
- 再生可能エネルギーへの転換を図っていく。
- 原発ゼロを。
- できる限り早期の全廃に向けてエネルギー政策の転換を求めている。
- 地球温暖化防止対策の強化を。
- 中小零細企業・業者への直接的支援強化を。
- 融資枠拡大など資金繰り支援。国にも要望。
- 非正規労働者支援を。
- 国の制度等の周知に努めている。
- 給食の地産地消推進

「財政危機」の大合唱、市長応援質問 〓 与党会派質問の特徴 〓

一方、共産党以外の各党は、「財政危機」を前提としたうえで、「危機の現状説明を」「不転の決意で『改革』促進を」等との立場からの質問がほとんどでした（「改革」とはもちろん、市民にとっては改悪のこと）。

- 質問は市営住宅の今後は？
- 市長は部屋数を減らし、家賃減免も見直す。
- 油小路通りの渋滞対策はどうか。
- 地下ハイパストンネル

を。中学校でも給食を。府内産米の使用に努めている。中学校は自由選択制としている。



労働組合の皆さんからご意見を聴く

2月28日、「きょうとユニオン」の皆さんと懇談の機会があり、身近な要求実現から政治の話まで、いろいろな話をお聴きしました。共産党の活動や政策についてのご注文や御意見も頂きました。有難うございました。

最近の相談から



- 小口の資金の融資をお願いしたい。
- 相続税について。
- 家を売った時の税金について。
- 下水管の漏水について。
- 身体障害者手帳の申請について。
- 親子関係。
- 隣にマンション建設計画。説明会開催を。